

三国志 水滸伝 西遊記

平成18年度 筑波大学附属図書館企画展

中国三大奇書の成立と受容

『三国志』『水滸伝』『西遊記』はどのように読まれ、描かれたか

会期 平成18年

10/2 月 ~ 10/27 金

土・日は閉室 ※学園祭期間中(10/7 土 ~ 10/9 日)は開室

時間 9:00 ~ 17:00

※学園祭期間中(10/7 土 ~ 10/9 日)は10:00 ~ 17:00

会場 筑波大学附属図書館 (中央図書館 貴重書展示室)

主催 筑波大学附属図書館

入場無料

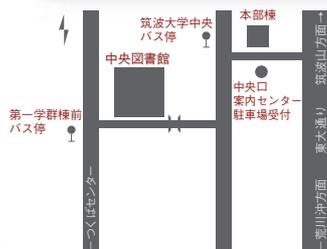
特別講演会『三大奇書の図像と映像』実施!!

10/ 8 日 中国編 連環画とテレビドラマ

10/23 日 日本編 マンガとアニメとエノケン映画

各回 13:30 ~ 15:30

講師 大塚秀明 (筑波大学大学院 人文社会科学研究所助教授)



交通案内

- ★つくばエクスプレス つくば駅下車
- ★JR常磐線 土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅下車
- ★東京駅八重洲南口より常磐高速バス つくばセンター行つくばセンター下車

バス乗換

→筑波大学中央行 / 筑波大学循環(右回り) 「第一学群棟前」下車

または

筑波大学循環(左回り)「筑波大学中央」下車

*できるだけ公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ /

筑波大学附属図書館 古典資料係 TEL:029-853-2376

E-mail: voice@tulips.tsukuba.ac.jp

平成18年度 筑波大学附属図書館企画展 中国三大奇書の成立と受容

企画展へようこそ

「中国三大奇書」——
400年前の江戸時代に中国から日本にもたらされ、今なお多くの人に愛読されている
「三国志」「水滸伝」「西遊記」を私たちはこのように呼び、今回の企画展では筑波大学附属図書館所蔵
の資料を交えながら、中国三大奇書の中国での成立と日本での受容についてみなさんと一緒に見ていき
たいと思います。



▲金比羅船利生纒



▲筑波水滸伝



▲南総里見八犬伝

導入部 外来文化の受容と日本文化の発信

現在は日本製アニメが中国・韓国などアジア諸国に、そして世界に発信されています。受容した国や地域で
は翻訳や吹き替えがなされ、日本とは趣を異にする独特の作品が生まれています。日本製アニメの、日本か
らの発信とアジア諸国での受容が、江戸時代の日本にもたらされた中国三大奇書についてもいえるのではな
いでしょうか？この疑問が企画展のスタートでした。

第1部 中国での成立

三大奇書には史実に登場する実在した人物以外にも、たくさんの登場人物が出てきます。史実が伝承され、
その過程で創作が加わり、物語として講談や芝居にされてきたのです。史実から時を経て、文字で記録さ
れ、冊子として流通した過程を追っていきましょう。三国志に登場する関羽が現在も神として奉られてい
る理由がわかるかも知れません。

第2部 日本での受容

江戸時代のニッポン。三国志の講釈師や、水滸伝を演じる劇団が中国からやってきたわけではありませ
ん。中国三大奇書は、その本だけが日本にやってきたのです。当時の限られた語学力・中国情報から、
全てが解読できたわけではなく、多くの誤訳も含まれており、それが明治、大正、昭和前期まで続き、日
本での中国人像・中国文化像の形成に影響したのです。

第3部 子どもから大人まで

中国ではもちろん、日本でも、現代では三大奇書は子どもから大人まで、幅広い年代に受け入れられていま
す。また、登場人物たちが活躍する場も本だけではなく、映画、テレビ、マンガ、ゲームと様々です。
老若男女問わず、人々を惹きつける三大奇書の魅力とは何でしょうか？様々なメディアの展示を通してもう
一度再確認していきます。

第4部 特別コーナー「ブタとカッパと青龍刀」

沙悟浄はカッパ……じゃないの！？
私たち日本人が勘違いしてしまった、三大奇書に関するおまけコーナーです。

マンガでしか三国志を知らない方、テレビでしか西遊記を見たことがない方。
「三国志」の大軍師諸葛孔明や「水滸伝」の打虎英雄武松、「西遊記」の
斉天大聖孫悟空とともに、会場でお待ちしています。

筑波大学附属図書館

主要展示書目

★『精鑄合刻三国水滸全伝 (英雄譜)』

★『水滸後伝』

★『南総里見八犬伝』

『大唐西域記』

『水滸伝：容与堂本』

『通俗忠義水滸伝』

『金比羅船利生纒』

『筑波水滸伝』

『西遊漫記』

ほか

★=筑波大学附属図書館所蔵貴重書

表面図解説

左上：『繪本通俗三国志』
右上：『李卓吾先生批評西遊記』
中央：『新編水滸伝』

企画展オフィシャルWebページ <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/>
展示品目の解説ほか多彩なコンテンツをネット上に用意しました。
こちらにもぜひお立ち寄りください。